

いつまで続く！ 低額回答！ 断固抗議する！

2019決算は発足以来4番目の単体経常黒字71億円！
コロナ渦でも安全・安定輸送に努力する社員感情を逆なでする姿勢！

「1.75 箇月分、7月7日支払い」

これでは社員のモチベーションは上がらない！経営陣も努力すべき！

6月12日、2020年度「夏季手当」の回答を貨物会社から受けた。

席上本部は、「回答は、好決算を受けても低額回答を続けてきた、この間の期末手当での対応の延長線上の回答であり、企業として社員に対する責任を果たしていないものである」として、①自然災害や「新型コロナウイルス」の影響による「先行き不透明」を理由とした、低額回答ありきの姿勢に終始する全く誠意の見られないものでしかない。②昨年度決算は会社発足以来4番目の単体経常利益71億円を確保し自然災害や「新型コロナウイルス」の影響を受けながらも10期連続黒字を確保する下で、社員と家族の厳しい生活実態をまったく顧みないものでしかない。③新型コロナウイルス感染で命の危機に晒されながらも安全・安定輸送に努力する社員感情を逆撫でするものでしかない。④新たな人事制度では「生き生きとやりがいを持ち将来に希望が持てる制度」であると繰返し説明してきたが見事に裏切られた思いだ。⑤経営に影響を与える数々の根幹問題を先送りし、社員犠牲の経営を続けている経営陣の責任は重大であり、支払う体力が十分あるにも関わらず、要求に応えない経営陣には失望しかない。と嚴重に抗議を行った。

これに対し、会社は、「貴組合の指摘は受け止めるが、会社として最終判断した中身であり、最終回答である」との見解に終始した。

最後に本部は、本日の夏季手当の低額回答は、社員と家族の生活実態を全く無視した一方的な姿勢であり到底認められるものではなく「極めて不満である」と重ねて抗議し、取り扱いについては「持ち帰り検討」とした。



経営課題の優先でなく
生活優先の手当の支払いを！

原資は0.1箇月⇒2億円
3.0箇月を支払う経営体力はある！
これ以上の社員犠牲はやめ、社員へ投資を行うべきだ！

「低額回答」への抗議と要請行動

※6月19日(金)まで